

令和 7 年 9 月 2 4 日

令和 7 年 第 3 回 和 束 町 議 会 定 例 会

(第 2 号)

和 東 町 議 会

令和 7 年 第 3 回 和 東 町 議 会 定 例 会

会 議 録 （ 第 2 号 ）

招 集 年 月 日 令 和 7 年 9 月 2 4 日 （ 金 ）

招 集 の 場 所 和 東 町 議 会 議 場

開 閉 議 日 時 開 議 午 前 9 時 3 0 分

 閉 議 午 後 1 時 5 8 分

出 席 議 員 （ 1 0 名 ）

1 番	岡	田	勇	2 番	宗	健	司
3 番	山	本	達 也	4 番	高	山	豊 彦
5 番	村	山	一 彦	6 番	井	上	武 津 男
7 番	岡	本	正 意	8 番	吉	田	哲 也
9 番	小	西	啓	1 0 番	畑	武	志

欠 席 議 員 （ 0 名 ）

な し

職 務 の た め 議 場 に 出 席 し た 者 の 氏 名

事 務 局 長 松 井 幸 則

書 記 長 谷 川 真 理

地方自治法第 1 2 1 条の規定により、説明のため議会に出席した者の職氏名

町 長	馬 場 正 実
参事兼税住民課長	岡 田 博 之
理事兼総務課長	原 田 敏 明
理事兼建設農政課長	北 広 光
会計管理者兼会計課長	松 井 幸 則
まちづくり応援課長	中 尾 政 弘
まちづくり応援課 地方創生担当課長	奥 野 雄 也
人 権 啓 発 課 長	今 西 靖
保 健 福 祉 課 長 兼診療所事務長	但 馬 宗 博
保 育 園 長	富 岡 初 代
環 境 衛 生 課 長	井 上 博 丞

議 事 日 程	別 紙 の と お り
会 議 に 付 し た 事 件	別紙議事日程のとおり
会 議 の 経 過	別 紙 の と お り
会 議 録 署 名 議 員	8 番 吉 田 哲 也
	9 番 小 西 啓

議事日程（第 2 号）

日程第 1 会議録署名議員の指名

日程第 2 認定第 1 号 令和 6 年度和東町一般会計歳入歳出決算認定について

認定第 2 号 令和 6 年度和東町湯船財産区特別会計歳入歳出決算認定
について

認定第 3 号 令和 6 年度和東町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認
定について

認定第 4 号 令和 6 年度和東町介護保険特別会計歳入歳出決算認定に
ついて

認定第 5 号 令和 6 年度和東町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算
認定について

認定第 6 号 令和 6 年度和東町簡易水道事業会計決算認定について

認定第 7 号 令和 6 年度和東町特定環境保全公共下水道事業会計決算
認定について

日程第 3 議案第 4 4 号 職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例

議案第 4 5 号 職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する
条例

日程第 4 議案第 4 6 号 湯船辺地に係る総合整備計画の変更について

日程第 5 議案第 4 7 号 令和 7 年度和東町一般会計補正予算（第 3 号）

議案第 4 8 号 令和 7 年度和東町国民健康保険特別会計補正予算（第 2
号）

議案第 4 9 号 令和 7 年度和東町介護保険特別会計補正予算（第 2 号）

議案第 5 0 号 令和 7 年度和東町後期高齢者医療特別会計補正予算（第
1 号）

議案第 5 1 号 令和 7 年度和東町簡易水道事業会計補正予算（第 1 号）

日程第 6 議員派遣について

日程第 7 委員会の閉会中の継続審査・調査について

午前 9 時 3 0 分開会

○議長（畑 武志君）

皆さん、おはようございます。本日は、ご苦勞さまです。

ただいまから、令和 7 年和束町議会第 3 回定例会を再開いたします。

暫時休憩いたします。

各議員の皆さん方には委員会室にご参集いただきたいと思います。

休憩（午前 9 時 3 0 分～午前 9 時 3 5 分）

○議長（畑 武志君）

休憩前に引き続き会議を開きます。

本日の会議を開きます。

日程第 1、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第 1 2 5 条の規定により、8 番、吉田哲也議員、9 番、小西 啓議員を指名いたします。

以上の両議員に差し支えのある場合には、議席の議員にお願いをいたします。

山本議員から、起立での質疑等が困難なため、自席で着座の申し出がありましたので、許可いたします。

日程第 2、認定第 1 号から認定第 7 号まで、令和 6 年度和束町一般会計歳入歳出決算認定について及び令和 6 年度和束町各特別会計歳入歳出決算認定、公営企業会計決算認定について、以上 7 件を一括議題といたします。

本件に関し、決算特別委員長の報告を求めます。

委員長から、起立での報告が困難なため、自席で着座にて報告の申し出がありましたので許可いたします。

決算特別委員長、岡田 勇議員。

○決算特別委員長（岡田 勇君）

ただいま議長から皆さんにご承認をいただきました着座にての報告をさせていただ

きますので、皆さんにはよろしくお願ひしたいと思ひます。

それでは、決算特別委員会審査の報告を行います。

認定第1号から認定第7号まで、令和6年度和束町一般会計歳入歳出決算及び和束町特別会計歳入歳出決算、公営企業会計決算については、9月8日開会の第3回定例会本会議において提案され、これを受けて議会は議員全員による決算特別委員会を設置し、付託の上、9月17日及び18日の2日間にわたり審査を行いました。

審査に当たっては、小西監査委員から決算審査意見書の報告、参事から主な施策の成果並びに決算書の説明、続いて、各所管の課長に事項別明細書等の説明を求めました。

令和6年度の一般会計ほか4特別会計の決算額は、歳入62億9,738万7,000円、歳出61億7,813万5,000円、歳入歳出差引額1億1,925万2,000円となり、実質収支額も8,167万7,000円の黒字となりました。また、公営企業会計決算については、簡易水道事業会計が収益的収入2億602万2,000円、収益的支出2億325万3,000円、資本的収入6,042万円、資本的支出1億3,625万9,000円となり、特定環境保全公共下水道事業会計が収益的収入1億5,816万1,000円、収益的支出1億5,778万1,000円、資本的収入1億233万9,000円、資本的支出1億4,120万2,000円となりました。

令和6年度は令和3年度に改定された和束町第5次総合計画に基づき、様々な施策に取り組みなながらも、全会計が黒字決算となった。総合保健福祉施設の建築工事が完成したことに加え、町道撰原下島線拡幅改良事業等を実施しながら、物価高騰、価格高騰への対応も行われた。

また、物価高騰緊急支援給付金事業や総合保健福祉施設整備事業や茶源郷行政情報配信システム事業やデジタル地域ポイント事業などに取り組まれた。

一方、財政の状況は、財政構造の弾力性や健全性を示す経常収支比率が82.8%となり、普通交付税の増加により堅調な数値を維持しているものの、財政力指数は前

年度より減少し、0.175となり、依然として自主財源の割合が低く、財源に余裕がない財政状況にある。

総合保健福祉施設整備事業をはじめとする大規模事業に係る地方債の元利償還金が大幅に増加することが見込まれており、今後悪化していくことが予想されるため、限られた財源の中、取捨選択し、事業を計画していかななくてはなりません。

各委員からは、「下水道事業のあり方についての検討が必要とあるが、その考えは」、「令和6年度の出生数が4件、出生状況をどのように受け止めているか」、「総合福祉施設と駐車場は、当初、工期時期が同じだったが、工期の遅れた時期が違う理由は」、「ホームページが未だに変更されていないが、委託料の業者の変更点の内容は」、「縁側カフェプロジェクト協力者の対象件数は何件あったか」など、多岐にわたり活発な質疑が交わされました。詳細については、後日、会議録にてご覧ください。

質疑の後、討論が行われました。採決の結果は次のとおりであります。

認定第1号 令和6年度和束町一般会計歳入歳出決算認定については、賛成者多数で可決。

認定第2号 令和6年度和束町湯船財産区特別会計歳入歳出決算認定については、賛成者全員で可決。

認定第3号 令和6年度和束町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定については、賛成者多数で可決。

認定第4号 令和6年度和束町介護保険特別会計歳入歳出決算認定については、賛成者全員で可決。

認定第5号 令和6年度和束町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定については、賛成者多数で可決。

認定第6号 令和6年度和束町簡易水道事業会計決算認定については、賛成者多数で可決。

認定第 7 号 令和 6 年度和束町特定環境保全公共下水道事業会計決算認定については、賛成者多数で可決。

以上のとおり、令和 6 年度和束町一般会計歳入歳出決算及び各特別会計歳入歳出決算及び公営企業会計決算は原案のとおり認定することに可決し、9 月 24 日、本日、決算特別委員会審査報告書を作成し、議長に提出いたしました。

以上、報告といたします。

○議長（畑 武志君）

本件に関しましては、ただいま報告がありましたように、議員全員による決算特別委員会で審査され、質疑・討論も活発に行われましたので、質疑・討論を省略し、これより採決いたします。

本件に対する委員長の報告は、認定すべきとするものです。

よって、本決算認定の 7 件は、委員長の報告のとおり認定することに賛成の方は起立願います。

起立多数です。

したがって、認定第 1 号から日程第 7 号まで、令和 6 年度和束町一般会計歳入歳出決算認定について及び令和 6 年度和束町各特別会計歳入歳出決算認定、公営企業会計決算認定について、以上 7 件は、委員長の報告のとおり認定することに決定しました。

日程第 3、議案第 44 号 職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例、議案第 45 号 職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例、以上 2 件を一括議題といたします。

提案理由及び議案の説明を求めます

○議長（畑 武志君）

町長。

○町長（馬場正実君）

おはようございます。

それでは、私のほうから、議案第４４号、第４５号についての提案理由を申し上げます。

まず、最初に、議案第４４号 職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の提案理由を申し上げます。

人事院規則１９－０（職員の育児休業等）の一部改正等に伴い、条例の一部を改正いたしたく提案させていただいた次第でございます。

ご審議の上、ご承認賜りますようよろしくお願い申し上げます。

続きまして、議案第４５号 職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の提案理由を申し上げます。

人事院規則１０－１１（育児又は介護を行う職員の早出遅出勤務並びに深夜勤務及び超過勤務の制限並びに意向確認等）の一部改正に伴い、育児に係る両立支援制度を利用しやすい勤務環境を整備する条文を追加するため、条例の一部を改正いたしたく、提案させていただいた次第でございます。

こちらのほうにつきましても、慎重審議をいただき、ご承認賜りますようよろしくお願い申し上げます。

○議長（畑 武志君）

総務課長。

○理事兼総務課長（原田敏明君）

おはようございます。

議案書の説明をさせていただきますので、和束町議会令和７年度第３回定例会議案書をお願いいたします。

議案第４４号、４５号については一括提案ということでございますので、続けてご説明を申し上げます。

それでは、議案第４４号のご説明を申し上げます。

議案第４４号

職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例

上記議案を提出する。

令和 7 年 9 月 2 4 日 提出

和 東 町 長 馬 場 正 実

1 枚おめくりいただきまして、条例の一部を改正する条例の案でございます。

あらかじめ議長のお許しをいただいておりますので、概要によりご説明を申し上げます。

1 枚おめくりいただきまして、資料 N o . 4 4 新旧対照表でございます。

こちらにつきましては、後ほどお目通しをお願いいたします。

2 枚おめくりいただきまして、概要でございます。

職員の育児休業等に関する条例の一部改正 概要

人事院規則 1 9 - 0 (職員の育児休業等)の一部改正等に伴い、所要の改正を行うもの。

【部分休業制度の拡充】

部分休業について、現行の 1 日につき 2 時間を超えない範囲内の形態に加え、1 年につき条例で定める時間(1 0 日相当)を超えない範囲内の形態を設けることとし、職員はいずれかの形態を選択可能とするものでございます。

施行期日につきましては、令和 7 年 1 0 月 1 日です。

続きまして、議案第 4 5 号のご説明を申し上げます。

議案第 4 5 号

職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例

上記議案を提出する。

令和 7 年 9 月 2 4 日 提出

和 東 町 長 馬 場 正 実

次のページが条例の一部を改正する条例の改め文でございます。

議長のお許しを得ておりますので、概要によりご説明を申し上げます。

1枚めくっていただきまして、資料No.45 新旧対照表をつけておりますので、後ほどお目通しをお願いいたします。

1枚おめくりいただきまして、概要でございます。

職員の勤務時間、休暇等に関する条例一部改正 概要でございます。

人事院規則10-11（育児又は介護を行う職員の早出遅出勤務並びに深夜勤務及び超過勤務の制限並びに意向確認等）の一部改正により、育児に係る両立支援制度を利用しやすい勤務環境の整備に関して定めるため、関係規定を追加するものでございます。

【改正内容】

子の年齢に応じた柔軟な働き方を実現するための措置を講じなければならない。

1 妊娠、出産等についての申出をした職員等に対する意向配慮等

2 3歳に満たない子を療育する職員に対する育児に係る両立支援制度に関する情報提供、また意向確認等でございます。

施行期日につきましては、令和7年10月1日でございます。

以上でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

○議長（畑 武志君）

これから質疑を行います。

7番、岡本正意議員。

○7番（岡本正意君）

2点、確認だけさせていただきます。

一つは、育児休業の関係ですけれども、今回こういった制度の拡充ということだと思いますが、和東町の役場のほうにおいて、この育児休業制度というものがどの程度利用されているかということと、あと、特に男性の職員の方の利用というものも、今、全国的には進んできているというふうに伺っておりますけれども、役場庁内の関係でい

えばどのような状況にあるか、確認させていただきたいと思います。

○議長（畑 武志君）

総務課長。

○理事兼総務課長（原田敏明君）

岡本議員のご質問にお答えさせていただきます。

こちらの支援の制度につきましては規則等で定めさせていただいておりますので、対象職員につきましては、できるだけ取得できるようにさせていただいているところでございます。

また、新しい看護休暇等の見直しということで、前々回の議会のほうで提出させていただいた分でございますが、こちらにつきましても小学校3年生までを対象にするということでございますので、その利用につきましても、小学校3年生までの子がいる職員につきましては、取得のほうをされている状況でございます。

以上です。

○議長（畑 武志君）

7番、岡本正意議員。

○7番（岡本正意君）

今そういう大変大事な制度になっておりますので、また今後、具体的な数字等をこちらが求めた場合はぜひお願いしたいと思います。

あと1点、もう一つのほうの改正について、いわゆる3歳に満たない子を療育する職員に対する育児に係る両立支援制度に関する情報提供・意向確認等と書いてありますけども、これは具体的にはどのようにされてされるのでしょうか。

○議長（畑 武志君）

総務課長。

○理事兼総務課長（原田敏明君）

はい、お答えさせていただきます。

先ほど申し上げましたように、一応、制度につきましては各担当課長の方に職員が申し出るという体系を取っておりますので、各担当課長から、今ございました両立支援制度の概要を説明させていただきまして、速やかに対応を図るということで進めさせていただきたいというふうに思いますので、よろしくお願いいたします。

○議長（畑 武志君）

ほかにありませんか。

質疑を終結いたします。

これより採決いたします。

採決は１件ごとに行います。

議案第４４号 職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例は、原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

起立全員です。

したがって、議案第４４号 職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例は、原案のとおり可決されました。

議案第４５号 職員の勤務時間休暇等に関する条例の一部を改正する条例は、原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

起立全員です。

したがって、議案第４５号 職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例は、原案のとおり可決されました。

日程第４、議案第４６号 湯船辺地に係る総合整備計画の変更についてを議題といたします。

提案理由及び議案の説明を求めます。

町長。

○町長（馬場正実君）

議案第４６号の提案理由を申し上げます。

湯船辺地における公共的施設の総合的な整備について、「辺地に係る公共的施設の総合整備のための財政上の特別措置等に関する法律」第3条第1項の規定に基づき、総合整備計画を変更したく、提案させていただく次第でございます。

ご審議の上、ご承認賜りますようよろしくお願い申し上げます。

○議長（畑 武志君）

まちづくり応援課長。

○まちづくり応援課長（中尾政弘君）

それでは、私のほうから、議案第46号のご説明を申し上げます。

議案第46号

湯船辺地に係る総合整備計画の変更について

湯船辺地における公共的施設の総合的な整備について別紙のとおり総合整備計画を変更したいので、辺地に係る公共的施設の総合整備のための財政上の特別措置等に関する法律第3条第1項の規定により議会の議決を求める。

令和7年9月24日提出

和 東 町 長 馬 場 正 実

裏面が変更後の総合整備計画書でございます。議長のお許しを得ておりますので、資料に基づきましてご説明を申し上げます。

なお、新旧対照表をつけさせていただいておりますが、記載内容に誤りがありましたので、机上に配付しております資料に差替えをお願いいたします。この資料に基づきご説明をさせていただきます。

3. 公共施設の整備計画の変更でございます。

公共施設の整備計画の計画年数並びに表中の事業費、財源内訳及び一般財源のうち、辺地対策事業債の予定価格を変更するものでございます。

計画年数でございますが、令和5年度から令和7年度までの3年間を1年間延長いたしまして令和8年度までの4年間とし、事業費として4,123万6,000円から

9,961万9,000円に、財源内訳でございますが、特定財源2,262万8,000円から5,268万6,000円、一般財源1,860万8,000円を4,693万3,000円に、一般財源のうち辺地対策事業債の予定額が1,840万円から4,280万円に変更するものでございます。

変更理由でございますが、令和2年度に実施いたしました橋梁の点検の結果を踏まえ、設計業務を進めていたところ、橋梁点検において指摘された箇所以外からの雨水の漏水などが発見されたため、改めて工法の見直しを行うために工期と事業費が変更になったことから、今回、辺地に係る総合整備計画を変更するものでございます。

以上でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

○議長（畑 武志君）

これから質疑を行います。

質疑はありませんか。

5番、村山一彦議員。

○5番（村山一彦君）

ちょっと課長にお聞きしたいんですが、今日来たところ、資料の差替えということで頂いているんですけど、初めにいただいたものとどこが変わっているのか、今見ていたら分からないので、説明のほうをお願いしたいです。

○議長（畑 武志君）

まちづくり応援課長。

○まちづくり応援課長（中尾政弘君）

それでは、村山議員のご質問にお答えさせていただきます。

初めにお配りさせていただいた資料でございますが、資料の区分、事業費の一番下段の合計の部分ですが、そちらのほうは9,916万9,000円と記載しておりますが、正しくは9,961万9,000円でございます。改めまして、間違いがありましたので、おわび申し上げます。

○議長（畑 武志君）

5 番、村山一彦議員。

○5 番（村山一彦君）

私のほうはどっちも 9,961 万 9,000 円ですけどね。

○議長（畑 武志君）

まちづくり応援課長。

○まちづくり応援課長（中尾政弘君）

先ほどお配りさせていただいた資料のほうが正しく、一番下の合計欄が 9,961 万 9,000 円と訂正させていただいております。議案書のほうが間違っておったということでございます。

大変失礼いたしました。

○議長（畑 武志君）

ほかにありませんか。

質疑を終結いたします。

これから討論を行います。

討論はありませんか。

討論を終結いたします。

これより、採決いたします。

議案第 46 号 湯船辺地に係る総合整備計画の変更について、原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

起立全員です。

したがって、議案第 46 号 湯船辺地に係る総合整備計画の変更については、原案のとおり可決されました。

日程第 5、議案第 47 号 令和 7 年度和束町一般会計補正予算（第 3 号）、議案第 48 号 令和 7 年度和束町国民健康保険特別会計補正予算（第 2 号）、議案第 49 号

令和 7 年度和束町介護保険特別会計補正予算（第 2 号）、議案第 5 0 号 令和 7 年度和束町後期高齢者医療特別会計補正予算（第 1 号）、議案第 5 1 号 令和 7 年度和束町簡易水道事業会計補正予算（第 1 号）、以上 5 件を一括議題といたします。

提案理由及び議案の説明を求めます。

町長。

○町長（馬場正実君）

それでは、議案第 4 7 号から議案第 5 1 号の提案理由を申し上げます。

最初に、

議案第 4 7 号 令和 7 年度和束町一般会計補正予算（第 3 号）は、健康福祉交流センター南側公園隣接土地災害復旧工事や物価高騰に伴う緊急支援給付金の不足給付事業並びに石寺地内防災備蓄倉庫整備事業等において

議案第 4 8 号 令和 7 年度和束町国民健康保険特別会計補正予算（第 2 号）は、直診勘定における院内検査等に係る医薬材料費等において

議案第 4 9 号 令和 7 年度和束町介護保険特別会計補正予算（第 2 号）は、保険事業勘定における居宅介護サービス給付費や施設介護サービス給付費等において

議案第 5 0 号 令和 7 年度和束町後期高齢者医療特別会計補正予算（第 1 号）は、後期高齢者医療連合に係る納付金等において

議案第 5 1 号 令和 7 年度和束町簡易水道事業会計補正予算（第 1 号）は、木屋区消防倉庫・駐車場整備事業に伴う水道管布設替設計委託料等において
予算補正を必要といたしますので、提案させていただいた次第でございます。

慎重審議の上、ご承認賜りますようお願い申し上げます。

○議長（畑 武志君）

総務課長。

○理事兼総務課長（原田敏明君）

議案第４７号のご説明を申し上げます。

議案書をお願いいたします。

議案第４７号

令和７年度和束町一般会計補正予算（第３号）

令和７年度和束町一般会計補正予算（第３号）は、次に定めるところによる。

（歳入歳出予算の補正）

第１条 既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ１億１，３３０万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ４１億４，３２０万円とする。

２ 歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、「第１表歳入歳出予算補正」による。

（地方債の補正）

第２条 既定の地方債の追加及び変更は、「第２表地方債補正」による。

令和７年９月２４日提出

和束町長 馬場正実

１枚めくっていただきまして、第１表 歳入歳出予算補正でございます。

歳入でございます。単位は円です。

款、補正前の額、補正額、計の順にご説明を申し上げます。

１１款地方交付税、１９億２，１２６万円、１，６４１万円、１９億３，７６７万円。

１５款国庫支出金、３億２，３５４万７，０００円、１，５０２万８，０００円、３億３，８５７万５，０００円。

１６款府支出金、１億９，４２１万９，０００円、２２８万１，０００円、１億９，６５０万円。

１８款寄附金１，０００円、４０５万３，０００円、４０５万４，０００円。

１９款繰入金、３億７，７１３万１，０００円、４，４００万円、４億２，１１３万１，０００円。

20 款繰越金、1,387 万 9,000 円、3,702 万 8,000 円、5,090 万 7,000 円。

22 款町債、5 億 1,880 万円、△550 万円、5 億 1,330 万円。

歳入合計でございますが、補正前の額 40 億 2,990 万円、補正額 1 億 1,330 万円、計 41 億 4,320 万円でございます。

1 枚おめくりいただきまして歳出でございます。

同様のご説明とさせていただきます。

1 款議会費、6,122 万円、65 万 3,000 円、6,187 万 3,000 円。

2 款総務費、7 億 5,739 万 8,000 円、5,653 万 7,000 円、8 億 1,393 万 5,000 円。

3 款民生費、8 億 7,242 万 1,000 円、2,048 万円、8 億 9,290 万 1,000 円。

4 款衛生費、6 億 82 万 9,000 円、7,000 円、6 億 83 万 6,000 円。

5 款農林業費、9,889 万 8,000 円、348 万 6,000 円、1 億 238 万 4,000 円。

6 款商工費、4,425 万 8,000 円、34 万 7,000 円、4,460 万 5,000 円。

7 款土木費、4 億 888 万 4,000 円、511 万 7,000 円、4 億 1,400 万 1,000 円。

8 款消防費、4 億 5,622 万 1,000 円、2,667 万 3,000 円、4 億 8,289 万 4,000 円でございます。

歳出合計につきましては、歳入合計と同額でございます。

1 枚おめくりいただきまして、続きまして、第 2 表 地方債補正でございます。

1. 追加でございます。

起債の目的：防災備蓄倉庫整備事業（緊急防災・減災事業）、限度額：650 万円、

起債の方法：証書借入又は証券発行、利率：年５．０％以内（ただし、利率見直し方式で借り入れる政府資金及び地方公共団体金融機構資金について、利率の見直しを行った後においては、当該見直し後の利率）、償還の方法：政府資金については、その融資条件により、銀行その他の場合にはその債権者と協定するものによる。ただし、町財政の都合により据置期間及び償還期限を短縮し、又は繰上償還もしくは低利に借り換えすることができる。計６５０万円でございます。

続いて、２．変更でございます。

起債の目的、補正前限度額、起債の方法、利率、償還の方法、補正後限度額、起債の方法、利率、償還の方法の順にご説明を申し上げます。

地域ポイントシステム事業（過疎対策）、４５０万円、証書借入又は証券発行、年５．０％以内（ただし、利率見直し方式で借り入れる政府資金及び地方公共団体金融機構資金について、利率の見直しを行った後においては、当該見直し後の利率）、政府資金については、その融資条件により、銀行その他の場合にはその債権者と協定するものによる。ただし、町財政の都合により据置期間及び償還期限を短縮し、又は繰上償還もしくは低利に借り換えすることができる。

補正後でございますが、４３０万円。

起債の方法、利率、償還の方法につきましては、補正前と同様でございますので、省略をさせていただきます。

以降におきましても同様でございますので、補正前の限度額、補正後の限度額のみを申し上げます。

町道撰原下島線拡幅改良事業（過疎対策）、１，６５０万円、８５０万円。

橋梁補修事業（辺地対策）、１，８７０万円、１，４９０万円。

補正前、計３，９７０万円、補正後につきましては２，７７０万円でございます。

続きまして、予算に関する説明書、令和７年度和束町一般会計補正予算（第３号）、資料Ｎｏ．４７に基づき、ご説明を続けさせていただきます。

1 ページから 4 ページの総括につきましては議案書と重複しておりますので、説明を省略させていただきます。

5 ページ、6 ページをお願いいたします。

歳入でございます。

主なもののご説明とさせていただきます。

1 1 款地方交付税、1 項地方交付税、2 目地方交付税、補正額 1,641 万円。こちらにつきましては普通交付税でございます。

1 5 款国庫支出金、2 項国庫補助金、1 目民生委員国庫補助金、補正額 934 万 8,000 円。主なものでございますが、1 節社会福祉補助金で 908 万 7,000 円、物価高騰対応地方創生臨時交付金、不足額給付分で計上させていただいております

1 8 款寄附金、1 項寄附金、3 目総務費寄附金、補正額 405 万 3,000 円。主なものでございますが、2 節企業版ふるさと納税寄附金 310 万円、交流人口を増やして定住につなげる事業分として計上させていただいております。

1 9 款繰入金、2 項基金繰入金、1 枚おめくりいただきまして、1 目財政調整基金繰入金、補正額 4,400 万円を計上させていただいております。

2 0 款繰越金、1 項繰越金、1 目繰越金、補正額 3,702 万 8,000 円、1 節前年度繰越金でございます。

2 2 款町債、1 項町債、6 目土木債、補正額△1,180 万円でございます。こちらにつきましては 1 節道路橋りょう債で内訳でございますが、過疎対策事業債（町道撰原下島線拡幅改良事業）で△800 万円、また、辺地対策事業債（橋梁補修事業）で△380 万円を計上させていただいております。

同款、同項、7 目消防債、補正額 650 万円。こちらにつきましては緊急防災・減災事業債（防災倉庫整備）分として計上させていただいております。

9 ページ、10 ページをお願いいたします。

続いて、歳出でございます。

歳出につきましても、同様、主なもののご説明とさせていただきます。

2 款総務費、1 項総務管理費、1 目一般管理費、補正額 4,742 万円で、主な内訳でございますが、12 節委託料で 30 万円。こちらにつきましては、家屋等調査委託料でございます。

また、14 節工事請負費 4,100 万円でございますが、こちらにおきましては、健康福祉交流センター南側公園隣接土地災害復旧工事として計上をさせていただいております。

同款、同項、1 枚めくっていただきまして、4 目活性化対策費、補正額 404 万 5,000 円でございます。主なものでございますが、14 節工事費で 350 万円、こちらにつきましては、交流センターの進入路の改良工事費ということでございますので、よろしくお願いいたします。

3 款民生費、1 項社会福祉費、1 枚めくっていただきまして、3 目老人福祉費、補正額 680 万 7,000 円でございます。主なものでございますが、18 節負担金、補助及び交付金で 219 万 8,000 円、こちらにつきましては、シルバー人材センターの補助金を減額計上させていただいております。

また、27 節繰出金 725 万 2,000 円で、介護保険事業勘定繰出金に 592 万 4,000 円、また、後期高齢者医療特別会計繰出金に 132 万 8,000 円を計上させていただいております。

同款、同項、15 目価格高騰緊急支援給付事業、補正額 908 万 7,000 円でございます。こちらにつきましては、（事業）、物価高騰緊急支援給付金（不足給付事業）ということで、同額計上させていただいております。

15、16 ページをお願いいたします。

5 款農林業費、2 項林業費、2 目林業振興費、補正額 322 万 3,000 円でございます。こちらにつきましても（事業）、野生鳥獣被害総合対策事業費として同額を計上させていただいております。

次のページをお願いいたします。

7 款土木費、2 項道路橋りょう費、3 目道路新設改良費、補正額 5 0 6 万 2 , 0 0 0 円。こちらにつきましては 1 2 節委託料でございます。橋りょう点検調査業務委託料で 2 0 6 万 2 , 0 0 0 円、測量設計業務委託料で 3 0 0 万円を計上させていただいております。

次に、8 款消防費、1 項消防費、3 目消防施設費で補正額 1 , 4 2 5 万円。主なものでございますが、1 2 節委託料で防火水槽設置測量設計業務委託料 1 5 5 万円、また工事設計委託料で 1 , 1 2 0 万円を計上させていただいております。

同款、同項、5 目災害対策費、補正額 1 , 2 4 2 万 3 , 0 0 0 円。主なものでございますが、1 4 節工事請負費で、工事費で 1 , 2 0 0 万円を計上させていただいております。

1 9 ページ以降は給与費明細でございますので、後ほどお目通しをお願いいたします。

以上でございます。どうぞよろしくをお願いいたします。

○議長（畑 武志君）

会議の途中ですが、ただいまから 1 0 時 4 0 分まで休憩いたします。

（午前 1 0 時 2 4 分～午前 1 0 時 4 0 分）

○議長（畑 武志君）

休憩前に引き続き会議を開き、説明を続けます。

保健福祉課長。

○保健福祉課長兼診療所事務長（但馬宗博君）

それでは、私のほうからは、診療所並びに保健福祉課の所管事業の議案の説明をさせていただきます。

それでは、議案第 4 8 号をよろしくをお願いいたします。

議案第 4 8 号

令和 7 年度和束町国民健康保険特別会計補正予算（第 2 号）

令和 7 年度和束町国民健康保険特別会計補正予算（第 2 号）は、次に定めるところによる。

（歳入歳出予算の補正）

第 1 条 直営診療施設勘定の既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ 4 7 5 万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ 1 億 1, 7 5 2 万円とする。

2 直営診療施設勘定の歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、「第 1 表歳入歳出予算補正」による。

令和 7 年 9 月 2 4 日提出

和束町長 馬場 正実

おめくりください。

続きまして、第 1 表 歳入歳出予算補正でございます。

まず、歳入でございます。

款、補正前の額、補正額、計の順にご説明いたします。

1 款診療収入、6, 8 5 3 万 9, 0 0 0 円、3 0 4 万 7, 0 0 0 円、7, 1 5 8 万 6, 0 0 0 円。

6 款繰越金、1 9 2 万 1, 0 0 0 円、5 0 万 3, 0 0 0 円、2 4 2 万 4, 0 0 0 円。

9 款諸収入、1, 0 7 9 万 4, 0 0 0 円、1 2 0 万円、1, 1 9 9 万 4, 0 0 0 円。

歳入合計、1 億 1, 2 7 7 万円、4 7 5 万円、1 億 1, 7 5 2 万円。

次のページをお願いいたします。

続いて、歳出でございます。歳入同様の説明とさせていただきます。

1 款総務費、7, 8 4 4 万 4, 0 0 0 円、1 2 3 万円、7, 9 6 7 万 4, 0 0 0 円。

2 款医業費、3, 3 9 9 万 3, 0 0 0 円、3 5 2 万円、3, 7 5 1 万 3, 0 0 0 円。

歳出合計は、歳入と同額でございます。

続きまして、予算に関する説明書、資料N o . 4 8をお願いいたします。

1 ページから 4 ページにつきましては、議案書と重複しますので説明を省略させていただきます、5、6 ページをお願いいたします。

まず、歳入でございます。

款、項、目、補正額の順に主なもののみご説明いたします。

1 款診療収入、2 項外来収入、7 目後期高齢者医療保険診療報酬収入、3 0 4 万 7 , 0 0 0 円。こちらは現年度分を充てております。

9 款諸収入、2 項受託収入、1 目検診等受託収入、1 2 0 万円。こちらは検診等受託収入を充てております。

次のページをお願いいたします。

歳出につきましても、歳入同様の説明とさせていただきます。

2 款医業費、1 項医業費、3 目医薬品衛生材料費、4 1 2 万円。こちらは需用費の医療材料費というところの薬代、試薬代の増加によるものでございます。

同款、同項、検査委託費、△ 1 0 0 万円。臨床検査他委託料につきましては、診療所内で行える検査が増えたことによる委託料の減額でございます。

9 ページ以降は給与費明細を貼付しておりますので、後ほどお目通しいただきますようよろしくお願い申し上げます。

国民健康保険特別会計の説明は以上となります。

続きまして、議案第 4 9 号をお願いいたします。

議案第 4 9 号

令和 7 年度和束町介護保険特別会計補正予算（第 2 号）

令和 7 年度和束町介護保険特別会計補正予算（第 2 号）は、次に定めるところによる。

（歳入歳出予算の補正）

第 1 条 保険事業勘定の既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ 4 , 7 4 0

万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ 7 億 9,108 万円とする。

- 2 険事業勘定の歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、「第 1 表歳入歳出予算補正」による。

令和 7 年 9 月 24 日提出

和東町長 馬場 正実

おめくりください。

続きまして、第 1 表 歳入歳出予算補正でございます。

まず、歳入でございます。

款、補正前の額、補正額、計の順にご説明いたします。

1 款保険料、1 億 3,515 万 1,000 円、7 万 9,000 円、1 億 3,523 万円。

3 款国庫支出金、1 億 7,283 万 2,000 円、1,148 万 6,000 円、1 億 8,431 万 8,000 円。

4 款支払基金交付金、1 億 8,859 万 3,000 円、1,279 万 8,000 円、2 億 1 億 3 9 万 1,000 円。

7 款繰入金、1 億 2,256 万 9,000 円、7 4 2 万 4,000 円、1 億 2,999 万 3,000 円。

9 款繰越金、1,590 万 1,000 円、8 7 0 万 9,000 円、2 4 6 万 1,000 円。

歳入合計、7 億 4,368 万円、4,740 万円、7 億 9,108 万円。

次のページをお願いいたします。

続きまして、歳出でございます。歳入同様の説明とさせていただきます。

2 款保険給付費、6 億 7,346 万 2,000 円、4,740 万円、7 億 2,086 万 2,000 円。

歳出合計は、歳入と同額でございます。

続きまして、予算に関する説明書、資料No.49をよろしくお願いいたします。

同様に、1ページから4ページにつきましては議案書と重複いたしますので、説明を省略させていただきます。

5、6ページをお願いいたします。

まず、歳入でございます。

款、項、目、補正額の順に、主なもののみご説明いたします。

3款国庫支出金、1項国庫負担金、1目介護給付費負担金、850万円。こちらは現年度の負担金でございます。

4款支払基金交付金、1項支払基金交付金、1目介護給付費交付金、1,279万8,000円。こちらにつきましても現年度分の交付金でございます。

5款府支出金、1項府負担金、1目介護給付費負担金、690万4,000円。こちらにつきましても、現年度分の介護給付費の負担金を充てております。

9款繰越金、1項繰越金、次のページをお願いいたします。1目繰越金、870万9,000円。こちらは純繰越金を当てております。

おめくりください。

続きまして、歳出でございます。歳入同様、主なもののみの説明とさせていただきます。

2款保険給付費、1項介護サービス等諸費、1目居宅介護サービス給付費、1,670万円。こちらは負担金でございます。

同款、同項、3目地域密着型介護サービス給付費720万円。こちらにつきましても負担金でございます。

同款、同項、5目施設介護サービス給付費、1,960万円。こちらについても負担金となっておるところでございます。

介護保険事業特別会計（保険事業勘定）の説明は以上でございます。

続きまして、再度議案書のほうをお願いいたします。

議案第 50 号でございます。

議案第 50 号

令和 7 年度和束町後期高齢者医療特別会計補正予算（第 1 号）

令和 7 年度和束町後期高齢者医療特別会計補正予算（第 1 号）は、次に定めるところによる。

（歳入歳出予算の補正）

第 1 条 既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ 153 万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ 9,943 万円とする。

2 歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、「第 1 表歳入歳出予算補正」による。

令和 7 年 9 月 24 日提出

和束町長 馬場 正実

おめくりください。

続きまして、第 1 表 歳入歳出予算補正でございます。

まず、歳入でございます。

款、補正前の額、補正額、計の順にご説明いたします。

3 款繰入金、3,218 万 2,000 円、132 万 8,000 円、3,351 万円。

4 款繰越金、37 万円、20 万 2,000 円、57 万 2,000 円。

歳入合計、9,790 万円、153 万円、9,943 万円。

次のページをお願いいたします。

続きまして、歳出でございます。歳入同様に主なもののみご説明いたします。

1 款総務費、126 万 1,000 円、6,000 円、126 万 7,000 円。

2 款後期高齢者医療広域連合納付金、8,988 万 4,000 円、152 万 4,000 円、9,140 万 8,000 円。

歳出合計は、歳入と同額でございます。

続きまして、予算に関する説明書、資料No.50をよろしく願いいたします。

同様に、1ページから4ページにつきましては議案書と重複いたしますので、説明を省略させていただき、5、6ページをよろしく願いいたします。

まず、歳入でございます。

款、項、目、補正額の順に主なもののみご説明いたします。

3款繰入金、1項一般会計繰入金、1目一般会計繰入金、132万8,000円。

こちらは事務費の繰入金でございます。

おめくりください。

続きまして、歳出でございます。歳入同様、主なもののみとさせていただきます。

2款後期高齢者医療広域連合納付金、1項後期高齢者医療広域連合納付金、1目後期高齢者医療広域連合納付金、152万4,000円。こちらにつきましては、負担金、補助及び交付金、負担金でございます。

以上、診療所並びに保健福祉課所管についての各特別会計の説明とさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

○議長（畑 武志君）

環境衛生課長。

○環境衛生課長（井上博丞君）

それでは、私のほうから、議案第51号の説明をさせていただきます。

議案書のほうをよろしくお願いいたします。

議案第51号

令和7年度和束町簡易水道事業会計補正予算（第1号）

（総則）

第1条 令和7年度和束町簡易水道事業会計補正予算（第1号）は、次に定めるところによる。

（業務の予定量の補正）

第2条 令和7年度和束町簡易水道事業会計第2条に定めた業務の予定量を次のとおり補正する。

(事項)

(3) 主な建設改良事業

(イ) 木屋区消防倉庫等整備に伴う水道管布設替設計、既決予定額0円、補正予定額150万円、計150万円。

(収益的収入及び支出の補正)

第3条 予算第3条に定めた収益的収入及び支出の予定額を次のとおり補正する。

科目、既決予定額、補正予定額、計の順に説明します。

収入

第1款水道事業収益、2億3,076万2,000円、13万5,000円、2億3,089万7,000円。

第2項営業外収益、1億2,554万6,000円、13万5,000円、1億2,568万1,000円。

支出

第1款水道事業費用、2億3,096万円、58万8,000円、2億3,154万8,000円。

第1項営業費用、2億906万5,000円、58万8,000円、2億965万3,000円。

(資本的収入及び支出の補正)

第4条 予算第4条に定めた資本的収入及び支出の予定額を次のとおり補正する。

資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額7,572万1,000円は、過年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額25万2,000円、過年度分損益勘定留保資金265万2,000円、当年度分損益勘定留保資金7,281万7,000円で補てんするものとする。

第4条につきましても同様の説明とさせていただきます。

収入

第1款資本的収入、6,405万5,000円、150万円、6,555万5,000円。

第2項負担金等、5万2,000円、150万円、155万2,000円。

支出

第1款資本的支出、1億3,977万6,000円、150万円、1億4,127万6,000円。

第1項建設改良費、355万円、150万円、505万円。

令和7年9月24日提出

和東町長 馬場 正実

続きまして、予算に関する説明書No.51をお願いいたします。

1ページは議案書と重複いたしますので、少しページをめくっていただきまして、7ページをお願いいたします。7ページでございます。

令和7年度和東町簡易水道事業会計予算内訳書

収益的収入及び支出

款、項、目、節、金額の順に説明させていただきます。主なもののみとさせていただきます。

収入は省略いたしまして、支出でございます。

水道事業費用、営業費用、原水及び浄水費、修繕費で50万円、浄水場設備等の修繕費でございます。

続きまして、8ページでございます。

資本的収入及び支出でございます。

収入

資本的収入、負担金等、受益者負担金、工事負担金で150万円、消防倉庫等の整

備工事に伴う負担金。

支出

資本的支出、建設改良費、配水管布設費、委託料で150万円。木屋区消防倉庫等整備に伴う水道管布設替設計でございます。

2ページ以降のキャッシュフローの計算書貸借対照表については後ほどお目通しください。

以上、簡易水道事業会計補正予算の説明とさせていただきます。

よろしく願いいたします。

○議長（畑 武志君）

説明が終わりましたので、これから質疑を行います。

4番、高山議員。

○4番（高山豊彦君）

それでは、何点か質問をさせていただきたいと思います。

まず、一般会計の予算に関する説明書14ページでございます。

中ほどにシルバー人材センター補助金△219万8,000円というのがございます。今年度の当初予算を見ますと276万2,000円の当初予算を組んでおられるんですが、今回そのほとんどが減額されるということなんですが、これは多分、先日の一般質問でも町長のほうから、シルバー人材センターの設置の関係の答弁もあったかと思うんですが、その関係だと思うんですが、この減額の理由ですね。なぜ、ほとんど減額になるのか、その辺り答弁願います。

○議長（畑 武志君）

保健福祉課長。

○保健福祉課長兼診療所事務長（但馬宗博君）

ただいまの高山議員のご質問にお答えいたします。

ご指摘のとおり、当初予算におきまして、半年分の人件費とその後の運営の補助金

という形で計上させていただいておりました。しかしながら、過去の引継ぎという形ではございますが、ほぼほぼゼロベーススタートで現在進めているところでございまして、規約等の整理にまだ一定の時間、また会員の募集にも一定の時間が要するという事で、半年のスタートということではなく、おおむね1年かかるということで、こちらの補助金の組替えという形で、会計年度職員のほうの報酬を上げさせていただいたところでございます。

以上でございます。

○議長（畑 武志君）

4番、高山豊彦議員。

○4番（高山豊彦君）

第5次総合計画の前期基本計画の中にもシルバー人材の育成を支援しという項目があるんですね。当然、今年度当初予算で上げられたということは、今年度中にそれを設立しようということだと思んですが、これまでもシルバー人材センターにつきましては各議員の方から必要性について訴えがございました。先日も一般質問の中で他の議員が質問もあったかと思えますし、また、私の一般質問でもですね、住民の方がやはりいろんな形で作業をお手伝い願いたいという思いを持っておられる、そのことについて町長のほうから、その項目についてはシルバー人材のほうでというような答弁があったかと思うんですね。ということで、やはりなるべく早くやっていかないと、これから本当に間に合うのかなという思いがあるんです。

今まさに今年度で前期の計画が終わるわけですから、今は多分、次年度予算に向けて後期計画を立てておられる真っ最中だと思うんですよ。そういう多忙な中で、今後そういう計画が進められるかどうかという不安もあるんですよ。なので、やはり今年度中にシルバー人材センターが設立されるのかどうか、その辺りの計画はどのように考えておられますか。

○議長（畑 武志君）

保健福祉課長。

○保健福祉課長兼診療所事務長（但馬宗博君）

ただいまの高山議員のご質問にお答えいたします。

一定、スケジュールをもちましてご説明申し上げます。

まず、近隣関係、近くでいいますと南山城村であったりとか、奈良県の山添村であったり、視察を行っているところがございます。

それから、規約等の整備を進めておりまして、入会説明会のほうを老人クラブ会長会などで一定行いました。年内に会員募集を開始する予定でございまして、発起人等、また理事会等、臨時総会等を年内もしくは年度内に行いまして、同時に事務局職員の募集、その他事務用品の整備等を行いまして、令和８年度当初より仕事が執れるような体制を取りたいというような形で進めているところがございますので、ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

○議長（畑 武志君）

４番、高山豊彦議員。

○４番（高山豊彦君）

これは私個人の意見というか考えなんですけど、今現在、社会福祉協議会のほうでも生活支援で草刈りであるとか、外出支援であるとかいろんなお手伝いをされておられますけれども、なかなか人が集まらないのが現実なんです。その中でシルバー人材センターを立ち上げたときにどれだけの協力していただける方が募集応募していただけるのかということもあるかと思うんです。

令和８年度から立ち上げるということですが、やはりそこはしっかりとこの押さえていかないと、特に本町の場合、農家の方が多くおられまして、兼業農家の方も会社を辞めてから農業のほうに専念されるという方もおられて、なかなか高齢の方でもお手伝い願えないということもあるかと思うので、そこはしっかりと発信をしていただいて、募集をしていただいて、立ち上げていただきたいというふうに思い

ますので、よろしくお願いします。

今回の補正の中では上がってないんですが、同じ14ページの一番上なんですが、社会福祉総務費の関係です。

当初予算で見ますと、地域福祉計画策定委託料というのが213万4,000円あるんですね。地域福祉計画というのは先日も他の議員の一般質問の中で町長の答弁にもありました。やはり京都府としても、令和3年5月に行う災害対策基本法の改正を受けてこれから進めるということでございます。本町もそれに沿って進められると思うんですが、計画策定が最終年度、令和10年度ということになっています。

要配慮者の避難支援、そういった計画をしっかりと立てていかないといけないと思うんですよ。それがこの計画策定の部分について、今回、補正予算に上がってないんですよね。その辺りはどのように考えておられるのか。

○議長（畑 武志君）

保健福祉課長。

○保健福祉課長兼診療所事務長（但馬宗博君）

高山議員のご質問にお答えいたします。

ただいまのご質問は個別避難計画という形で理解させていただいてよろしかったでしょうか。

○4番（高山豊彦君）

地域福祉計画。

○保健福祉課長兼診療所事務長（但馬宗博君）

地域福祉計画ですね。地域福祉計画につきましては、相楽東部4町村と協働いたしまして、プロポーザル方式で発注をその後進めていく予定でございますので、また、要配慮者につきましては、個別避難計画で人数等を本町としては押さえておりますので、そちらのほうはしっかりと反映させていきたいと、このように考えているところでございます。

以上でございます。

○議長（畑 武志君）

4 番、高山豊彦議員。

○4 番（高山豊彦君）

地域福祉計画については東部 3 町村で進めていくと。既に本町の中でも要配慮者の把握であるとか、そういった形で進められている区もあるわけですよ。ここ最近、大きな災害が各地で起こっていますけども、そういったときに特に高齢者の方、また障害をお持ちの方、特に一人住まいの高齢者の方というのは、どうしたらいいのかという不安があるんですね。そういった部分では早くそういう形をつくって、安心して暮らしていただけるような体制づくりをぜひお願いしたいと思うんですが、これも今年度中に進められるんですか。

○議長（畑 武志君）

総務課長。

○理事兼総務課長（原田敏明君）

高山議員のご質問にお答えさせていただきます。

こちらにつきましては、要配慮者の個別避難計画でございますけども、一応、計画自体は防災の関係、また実質の中身につきましては、福祉の関係でさせていただいているというのが現状でございます。

予算のほうでございますけども、国の支援をいただきまして、京都府の防災課、また木津保健所と本町の総務課、また健康福祉課ということでチームを組んでいかさまして、今計画のほうを策定させていただいているところでございます。

この要配慮者の方につきましては、やはり事前の承認をいただくという制度でございますので、今回 1 人の方を福祉のほうから推薦いただきまして、石寺区在住の方でございますけども、寝たきり状態ということで、ふだんは病院のほうで入院しておられるんですけども、帰ってきたときにどういった対応ができるのかということで、承

認もいただきましたので、その方を対象に個別避難計画をつくらさせていただきますので、計画としては現在策定中でありますけども、できているということで、今後につきましてはハザードマップでマッピングさせていただいて、こちらのほうに要配慮者の方がおられましたら、名簿を今作成しておりますので、承認いただきまして、順次計画をつくらさせていただきたいというふうに思っているところでございます。

また、優先順位につきましては、木屋区、あとは湯船区ですね、そちらのほうから順次計画をつくらさせていただきたいという予定でございますので、よろしくお願いいたします。

○議長（畑 武志君）

4 番、高山豊彦議員。

○4 番（高山豊彦君）

以前にも言ったことがあるんですが、南山城村では、どの方を誰がそういったときに声かけをして避難をさせるかということを決めてあるというふうに伺ってます。ですから、やはりそういった体制をしっかりとつくっていただかないといけないかなというふうに思いますので、ぜひ、そこはスムーズによろしくお願いします。

以上で終わります。

○議長（畑 武志君）

7 番、岡本正意議員。

○7 番（岡本正意君）

それでは、一般会計の14ページの物価高騰緊急支援給付金事業などがあるところに関連してですけども、先日も指摘しましたけども、物価高騰が大変深刻な状況にあるという中で、迅速な支援というものが大変求められているわけですけども、9月補正での町独自のそういった意味での対策というのが、あまり反映されていないなというふうに見受けられると思うんですけども、何らかの検討はされたのかどうか、まず

伺いたいんですが、今回の補正でいいますと、先日も指摘しましたが、災害復旧という点で4,400万円の基金を取り崩しておられます。その内容はともかくといたしましても、町が緊急性を判断すれば迅速にいろいろ手当できるということを示しておられると思うんです。

同額ぐらいの物価対策がもし行われるのであれば、例えば、地域ポイントでありますと、1世帯で約2万7,000円に相当しますし、1人あたりにしますと1万3,000円にも相当いたします。

下水道基本料金の免除など1年分にも相当しますし、今からで言いますと下半期だけになりますので、約半額ぐらいで可能になるということも考えられます。

そういう点では、町として一定の判断を行えばそういった対策も可能だったんじゃないかと思いますが、今回、その辺、町長どう考えますか。

○議長（畑 武志君）

町長。

○町長（馬場正実君）

岡本議員のご質問に答弁させていただきます。

従前から私が申していますとおり、国と共有して何とかならないかというのが従前の話でございます。今回、与党を責めるわけではございませんが、当初7月、6月ではそのような話がいっぱい出ておりましたし、一番耳に残っているのであれば、1世帯2万円という話があったりとかしていました。こういうところを一緒にくっつけて何とかということは検討したんですけども、自主財源だけでやってしまいますと自主財源がなくなってしまう部分もありますし、もう少し大きく見せたかったというのもありまして、今回のところは見送ったというのが現状でございます。

ただ、見送った理由の一つとしましては、商工会と連携しまして、当初から組んでおりましたプレミアム商品券を9月に発行するということことができましたので、この点で一旦妥協したというのが私の原因でございます。その点についてはご理解をお願い

したいと思います。

○議長（畑 武志君）

7 番、岡本正意議員。

○7 番（岡本正意君）

今、町長が言われましたように、実際この問題での一番の責任というのは国にあると思います。実際、7 月から本当に空白になってしまって、いまだにまだ身内の総裁選の選挙で忙しいという中で、ほとんど無為無策といった状況が続いておりますけども、だからといって、町自身が無為無策になってはいけないというふうにも思うんですよね。

もちろん財源の問題はありますけども、そんなに大きな財源というのが必要なわけではありませんで、12 月定例会などを待たずに、今後やはり迅速に臨時会での補正予算も含めてぜひ検討いただきたいというふうに思いますので、強く要望しておきたいと思います。

次に、12 ページです。

茶源郷乗り合い交通の関係でW a z C a r の関係ですけども、まず8 月から宇治田原便というのがスタートしております。先日のいろんな質疑でも出ておりましたけども、ほぼ2 か月が経過してきたわけですが、いまだに宇治田原に行く便の利用がないというふうに伺っております。何が原因で利用がないっていうふうになっているのかどうお考えなのか。またどのような見通しを持って8 月からの宇治田原便をスタートさせたのか、その辺いかがですか。

○議長（畑 武志君）

町長。

○町長（馬場正実君）

私のほうから、若干概要も含めて答弁させていただきます。

まず、宇治田原便を8 月から動かそうという話になりましたのは、地元の運営して

いただくN P O Y u b u n eとの協議の中でございます。これは湯船のほうからも、急にやれと言われてもなかなかできないので、助走というか、試走というか、試行という形で一旦定期便で動かすという話になっています。それを夕方、朝ということで若干動かしていただいているのが現実でございます。これに対して乗る方がおられないというのも現実でありまして、先日もそういうご指摘を受けております。

ただ、先日もちょっと住民の方とお話をさせていただきながら、宇治田原便も含めたW a z C a rの在り方についてということで確認をしておったんですけども、一つは、宇治田原便だけじゃなくて定期便になかなか乗ってもらえない部分があるのが現実のようでございます。予約便については結構いろんな形で使われているのが現実でございます。

ただ、もう一つは、宇治田原便に関しましては誤解がありまして、宇治田原便に乗ったときに、そこから先に使うお金が高くつくからという誤解があるようです。これについては説明する中で、宇治田原便を使っただかく利便性というのがますますあると思いますので、あわせまして、今後、宇治田原便の定期をどうしていくかについては、N P O Y u b u n eとも十分相談しながら、ドライバーの確保、それから人員の確保も含めて、運行のほうを担当課と検討させるよう指示を出したいと思いますので、ご理解のほうをお願いいたします。

○議長（畑 武志君）

7 番、岡本正意議員。

○7 番（岡本正意君）

いろいろとそれはそれで検討といいますか、されているということだと思うんですけども、ただこの件につきましては、7月にスタート前に住民の方から意見を聞くといった場があったと思います。そのときに参加された方のお話なんかも少し伺っていたんですけども、その場では、宇治田原便について前向きな意見というに変ですけど、それをやってほしいというような感じの声は少なかったという話なんですね。

例えば、高校生の通学の足というところも多分意識されているとは思いますが、そういった点でもやはり当事者の方の声なども含めて、これではちょっと使えないんじゃないかというような声も出されたというふうに伺っているんですね。そういった点では、もう少し慎重に、慌てて運行を始めるんじゃなくて、そういった声も踏まえて、さらに検討を加えて、本当に利用していただくという意味での中身にしていく必要があったんじゃないかというふうに思うんですけどもその辺りどのようにお考え会議等々、あとやはり出ていたのが、利用料というか運賃が、宇治田原まで行くまでに900円かかるというのはやはり高過ぎるんじゃないかという話も出ておりましたし、高校生はいわゆる3分の2を軽減して300円の回数券という話も聞いておりますけども、いずれにしてもかなり高額だという話も聞いております。そういった点ももう少し検討すべきだったんじゃないかと思いますが、その辺いかがでしょうか。

○議長（畑 武志君）

町長。

○町長（馬場正実君）

私のほうから答弁させていただきます。

今まさに岡本議員がおっしゃられたとおりで、私のほうに入ってきたのもそういう誤解です。宇治田原便を3分の2に減額していただいたとしても、そこから京都まで行くのに月10万円かかるというような誤解の電話がありました。そうではなくて、しっかりと計算してくださいということで、僕も細かい計算はしてないんですけども、加茂木津回りで京都へ行く場合は、京都までの計算を奈良交通とJRで計算します。ただ、宇治田原で行ってもらいますと、京阪バスと宇治からの料金に変わります。10万円も上がるはずはないんですけども、ちょっとその辺の誤解があったりして、そちらの風評を先に広げられたというのが現実でございます。

ただ、時期がどうだったかという話につきましては、さあ、すぐ走れというわけにはなかなかいきませんし、やっぱり人員の確保等々もあるんで、行って体を慣れてい

ただかというか、組織が慣れていただくという意味では、見切りの発射したと言われるよりも、今後利用していただく方に向かってしっかりと準備を進めていただくということで、運行していただいているNPOのほうには理解を得ておりますので、今後、運行の在り方については、担当課それから運行者としてしっかりと協議をしながら、本当に定期便がいいのか、それとも予約便のほうに全部変えるのがいいのか、この点については考えていきたい。

ただ、NPO Yubuneにつきましましては、しっかりと運営していくための努力はとはしていただいておりますので、この点についてはご理解を願いたいと思います。

○議長（畑 武志君）

7番、岡本正意議員。

○7番（岡本正意君）

高校生の場合、回数券で行った場合に300円、往復600円というのは事実だと思います。あとの定期については、京阪バスの定期についても3分の2補助を適用するというので、この間、対応いただいているわけですが、それでもかなり高額になるということは変わらないというふうに思います。

いずれにしても、もちろん湯船の方の努力とかもしていただいているわけですが、ただ、2か月、何もないというのはどうなのかなというのは思われるというふうに思いますので、そこはもう一回立ち止まって考えて、利用できる便として検討いただきたいというふうに思います。

あわせて、高校生の通学補助の関係で関連してお聞きしておきますけども、いわゆる今回、京阪バスの路線にも宇治行き、田辺行きの定期代補助を適用されました。そういった方向に便を出す以上はやるべきことなんですけども、ただ、やはりこれまでの奈良交通のバスの利用促進という意味での制度の趣旨や目的の大きな変更にはなっているというふうに思います。これが可能であるならば、例えば、加茂駅からの鉄道

定期等への補助もすべきじゃないかというような声も既に寄せられておりますけども、その辺についての今後の考え方はいかがですか。

○議長（畑 武志君）

町長。

○町長（馬場正実君）

はい、答弁させていただきます。

いろんな意味で少子化対策、それから不便な公共交通をどう便利に使っていただけるかという点につきましては、今後の検討課題であるとは思いますが。特に子育て支援ということで考えていくことにはなろうと思っておりますけども、現段階ではバスの補助ということになっていきますので、私としましては、できたら、今、臨時的に走っていただいている京阪交通が定期便のバス路線になるというようなことも含めまして、今後も検討を加えていきたいと思っております。

電車につきますと、どこまでという話になりますと、京都までという話をする、また今度は奈良は、大阪は天王寺までなのかという話になってきますので、どこまで広げていくかについては、今後、動向を見ながら検討していきたいと思っておりますので、ご理解のほうをお願いいたします。

○議長（畑 武志君）

7 番、岡本正意議員。

○7 番（岡本正意君）

この間、南山城村であるとか笠置町のほうで鉄道の補助というのが開始されたというふうには聞いております。どこまでするかはいろいろあると思うんですけども、ぜひ前向きに検討いただきたいというふうに思います。

それと、あと、14ページの社協職員設置補助金についてなんですけども、もともと社協職員設置補助金というのは当初予算でももちろん措置されているわけですが、今回146万3,000円の増額補正というふうになっておりますが、これはどういう

中身の補正になっているのか、その辺いかがですか。

○議長（畑 武志君）

保健福祉課長。

○保健福祉課長兼診療所事務長（但馬宗博君）

ただいまの岡本議員のご質問にお答えいたします。

今回の設置事業の補助金なのですが、事務局の事務員が週３日のところを週５日に変更、あとは地域手当の増額でございます。

以上でございます。

○議長（畑 武志君）

７番、岡本正意議員。

○７番（岡本正意君）

今言われましたように、ボランティアコーディネーターの方の分の雇用の日数というのが週３日分として計算していたということなんですけども、ただ、現場としては週５日ということで要請されていたというふうに聞いておりますが、それが当初は反映されなかったと。ここに来て週５日分ということで手当されたということなんですけども、当初、現場は週５日でという要請はあったと思うんですが、なぜ週３日ということで判断されたのか、その辺はどのようにお考えでしょうか。

○議長（畑 武志君）

町長。

○町長（馬場正実君）

はい、答弁させていただきます。

予算の細かい配分につきましては担当課長の方に答弁になると思いますけども、私から全体的に言いますと、今回４月から「c h a n o v a」交流センターを動かすという話になりましたので、その分で増えるかどうかということでございます。

これについては地域コーディネーターという話もありますけども、基本的には、

「c h a n o v a」の受付業務の分担、それから包括支援センターの委託等々も含めまして、職員の中のウエイトを変更していくということもございましたので、従前の3日来ていただいた職員がその負担を受けるということになって、2日増えたというふうに私のほうでは判断しております。

○議長（畑 武志君）

7番、岡本正意議員。

○7番（岡本正意君）

ボランティアコーディネーターというのは、先ほどから、出ているようないろんな外出支援であるとか、いろんなボランティアグループの調整であるとか、いろんな地域福祉の関係の土台を担っていただいている方ということもあります。現場としてはやはり週5日の雇用ということでやっていただかないと大変困るということだったというふうに思いますので、そういった点の事業について若干軽視があったんじゃないかというふうに私はちょっと思ったりはしたわけですが、そこは適切に予算配分をしていただきたいというふうに思います。

それと、12ページの体験交流センターの進入道路工事の関係だと思うんですが、先日の質問で出ておったと思うんですが、いわゆる入口のとこの工事と聞いております。実際どのような工事になるのかということと、あと、工事中どの程度の工事期間があって、その間の利用者とか、また連合の職員であるとかの車両関係は、どの程度、どこでその間、駐車できるスペースを確保するのか、その辺の見通しはいかがでしょうか。

○議長（畑 武志君）

まちづくり応援課長。

○まちづくり応援課長（中尾政弘君）

それでは、岡本議員のご質問にお答えさせていただきます。

体験交流センター入口の工事ですが、当然工事するときは、そちらの部分は車

等は通れなくなります。利用者を含め職員も通れないということになります。実際、工事の期間等が決まりましたら、また連合のほうと調整させていただいて、駐車場所の確保、また利用者への案内等もこれから検討してまいりたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

○議長（畑 武志君）

会議の途中ですが、ただいまから午後１時３０分まで休憩いたします。

休憩（午前１１時３０分～午後１時３０分）

○議長（畑 武志君）

休憩前に引き続き、会議を開きます。

これより質疑を続けます。

○議長（畑 武志君）

７番、岡本正意議員。

○７番（岡本正意君）

では、あと少しお願いしたいと思います。

先ほど午前中の最後に体験交流センターの工事のことについてお聞きしたんですけども、それでいわゆる工事期間になったら、決まり次第、関係者の方にお伝えするという話でしたけども、その際、そこを利用されている団体であるとか、また個人であるとかおられると思うんですけども、できるだけ個別にそういった旨を連絡するようお願いしたいというのと、あと、やはりどこかに一時的な避難というかスペースを確保されると思うんですけども、できるだけ近いところで確保すると。夜間の利用というのもありますので、交通の安全の問題もありますので、その辺はそういうふうにぜひ検討いただきたいと思うんですけども、その辺いかがでしょうか。

○議長（畑 武志君）

まちづくり応援課長。

○まちづくり応援課長（中尾政弘君）

岡本議員のご質問にお答えさせていただきます。

当然、工事期間中使えない場合、大体の駐車場所なり夜間の駐車ですね、なるべく近いところとか安全なところは十分考えた上で、各団体、個人利用者の方、なるべく早めに連絡させていただきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

○議長（畑 武志君）

7 番、岡本正意議員。

○7 番（岡本正意君）

そこはぜひお願いしたいと思います。

関連しまして、体験交流センターの特に2階の和室があると思うんですけども、そこで備品として座机ですね、いわゆる座った状態で使うやつですけども、それが備品として使うわけですけども、ご存じと思いますが、大変古いものもありまして、昔のものであるのでかなり重量が重いんですね。以前は若い方も多かったので、特に問題もなかったときもあると思うんですけど、やはり今利用されている方も大変高齢化も進んでいるという状況もありますし、大変使いづらい状況もあります。ぜひ、その辺の備品の確認もいただいて、もう少し使いやすいものに取り替えていただくとかいうこともしていただくということと、これもご存じと思うんですが、入り口の辺りに立てかけて置いてあるんですね。結構危ない状況もありますので、細かい話で申し訳ないんですけども、その辺、収納の仕方も含めて、安全上の問題も使っていて感じてましたので、その辺も含めて、ぜひちょっと確認の上、検討いただきたいと思うんですけども、いかがでしょうか。

○議長（畑 武志君）

まちづくり応援課長。

○まちづくり応援課長（中尾政弘君）

岡本議員のご質問にお答えさせていただきます。

また、現場の方早急に確認していただきまして、机の状況ですね、保管状況も含め

て確認させていただきまして、なるべく安全に使っていただけるように、また古いものということでありましたら、その辺も現場を見させていただいて検討させていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

○議長（畑 武志君）

7 番、岡本正意議員。

○7 番（岡本正意君）

ぜひ、お願いしたいと思います。

あと、16 ページの有害鳥獣関係事業補助金について、今回322 万3,000 円と、一定、予算のほうが計上されておりますけども、これはどのような内容か説明いただけますか。

○議長（畑 武志君）

建設農政課長。

○理事兼建設農政課長（北 広光君）

岡本議員のご質問にお答えさせていただきます。

これにつきましては、有害鳥獣の対策ということで、一定、金網、ワイヤーメッシュや電柵のための補助金ということでございます。これにつきましては、令和6 年度または令和7 年度も前半のほうで要望がなかったので予算化しておらなかったんですが、今般、団体のほうから、一定、事業を行いたいということがありましたので、その見積りの下に金額のほうを予算計上させていただいたものでございます。

○議長（畑 武志君）

7 番、岡本正意議員。

○7 番（岡本正意君）

そこは要望に沿って、ぜひ確実に設置いただきたいというふうに思うんですけども。この関連で、一般質問でも触れましたけども、いわゆる熊の出没についての対応ということで、この間いろいろと出没情報も増えております。最近では、木津川市のほう

もそうですけども、井手町であるとか、そういったところでも情報が寄せられております。熊の頭数としては増えているという情報もありますので、今後やはり出沒なり遭遇の危険も増えてくるんじゃないかというふうに思われます。

猿なんかもそうだったんですけど、熊というのは、こっちに誘導するというか、招き入れてしまうというものです。例えば、昔でいえば柿の木とかありましたけども、以前、湯船とかの辺りでは一斉に柿木を切られて、そういったものを取り除いていくということで一定効果を上げられたという経験もありましたけども、熊についても、やはりそういった引き寄せるようなものを放置していくということが大変危険だとも言われております。

その辺で、地域によっても違うと思うんですが、もう一度、地域の状況も点検いただいて、そういった引き寄せるようなものがないかどうか、地域の方にも協力いただきながら、できるだけそれを取り除いていくということを今後、秋に向けてしていただくことも大変大事なかなと思ったんですけども、その辺はいかがでしょうか。

○議長（畑 武志君）

建設農政課長。

○理事兼建設農政課長（北 広光君）

ご質問にお答えさせていただきます。

この件につきましては、一定、京都府と協働の下に、情報を整理しながら、今、岡本議員からありましたように、誘導の関係で樹木等々もあるとは思いますので、そこら辺もまた京都府担当課と情報を集めた中で進めていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

○議長（畑 武志君）

7番、岡本正意議員。

○7番（岡本正意君）

最後になりますが、先ほど高山議員のほうからもありましたシルバー人材センター

のことについて、1点だけお願いしておきたいと思うんですが、先ほどの質疑の中で、本来だったら当初であれば稼働させていくという予定でありましたけども、いろんな諸準備の関係で、結局は来年度になるというような話がございました。シルバー人材センターというのは、先ほどもご紹介があったように、本当に長年にわたって様々な議員の方からも要望がありましたし、地域の住民の方からもそういった声があったというふうに思います。そういう点で今回ようやくシルバー人材センターを設置できるという意味では大変喜んでいるわけですが、そういう意味でやはりできるだけ早く稼働していただきたいと思うんですね。

先ほど令和8年度から仕事も取っていききたいという話もありましたけれども、それは本当にこれ以上遅らせないと。できるならばやはり前倒してでも、準備が整い次第スタートさせていくということも含めて、ぜひこれ以上遅れないように、手を必ず打っていただきたいというふうに先ほどの質疑を聞いて思っております。担当課のほうもいろいろと仕事も多い中で努力いただいていると思うんですけども、やはりそこは本当に町長として、これ以上遅れないように担当課とも連携いただいて、スタートを順調にできるようにお願いしたいと思ってるんですけども、その辺、町長のお考えをお願いしたいと思います。

○議長（畑 武志君）

町長。

○町長（馬場正実君）

岡本議員の質問にお答えさせていただきます。

今回、国も人件費の削減ということで200万円を減額する結果となりました。これにつきましては、補正予算の審議の中でうちの査定の中でいろいろ審議をさせていただきました。

一番大きな原因につきましては、規模の大きさが無いということがございます。その辺も含めて、会員の募集と、それから今行われている社協の事業等々も含めてい

いる検討している中でございます。その中で担当課のほうからは、来年２月頃には形ができるということで報告を受けておりますので、私としましては、この予算につきましては目玉の予算にしておりますので、令和７年度中に立ち上げるということについては可能な限り考えておりますので、ご理解のほうをよろしくお願いいたします。

○議長（畑 武志君）

５番、村山一彦議員。

○５番（村山一彦君）

それで、１点だけお聞きしたいと思います。

一般会計の６ページですけれども、企業版ふるさと納税寄附金で３１０万円上がっているんですが、企業版ふるさと納税というのは、前の堀町長が期待されたというものがやっとお預かりすることができたということで、この企業名と会社の概要等がお聞きできたらお聞きしたいんですが、よろしく頼みます。

○議長（畑 武志君）

地方創生担当課長。

○まちづくり応援課地方創生担当課長（奥野雄也君）

村山議員のご質問にお答えいたします。

３１０万円の内訳ですけれども、３００万円がＷＡＺＵＫＡホールディングスです。１０万円が東京に本社を置かれるネクスト・ワンというミネラルウォーターを扱っている会社からの寄附金になります。

以上でございます。

○議長（畑 武志君）

９番、小西 啓議員。

○９番（小西 啓君）

少し質問させていただきます。

Ｎｏ．４７の一般会計補正予算の１０ページ、健康福祉交流センター南側の崩落の

工事の件ですが、4,100万円出ております。私にこれを言わせますと、私、このときは岡本議員も質問されておられて、反対のことを言っておられましたが、今回質問が出ませんので、私、質問させてもらいます。

こういうことは薩摩守っていうんですよ。平の平家の一門の平忠度、意味分かりますか。ただ乗りっていうんですよ。ただ乗りでしてもらおうということなんですよ。辞書を引いてもらっても、薩摩守と言っていますから、そしたら必ず無賃乗車って出てきますから。その次、平家一門の平忠度という人が出ますから、ただ乗りで分かるでしょう、「ただのり」「ただ乗り」、無賃乗車ということなんですよ。だから、薩摩守っていうんですよ。こういうようなことをやっていると、これからも何ぼでも出てきますから。私だってしてほしいほどですよ。私、井上課長、家に来てくださいと言いましたね。道はここですよ。うちのこれだけ土を上げましたけど、何で上げたかというたら、ブロックが立ってました。水が入ってきました。倒れますから道まで行きますわね。それを防ぐために私から上げました。行政から10円のお金も請求しておりませんよ。私もただ乗りさせていただきたかった。「井上君、ここからここまではうちが上げるからな」と井上課長に言いましたね、私。

こういうことをやっていたら何ぼでもしないと駄目ですよ。やっぱりやるとこはやる、やらないとこはできませんとかいうことをちゃんとけじめをつけないと、きついこと言うけども、これをやらないと絶対駄目ですよ。

皆さん、してほしい方はたくさんいらっしゃいますよ。今でも農災というのはあるのかな。農業の崩落とかいろんなときにブロックするとかいろいろなことがあって、農業農家の方はそういうようなことを役場のほうに申請に来られるでしょう。やはりこれはできないわ。自分とこでしてください。行政がやるようなこと違いますわって、そういうことはありませんか。私はあると思いますよ。こういうようなことをやるのやったら、そこまでやしてやらないと。皆さんは税金を同じように払っておられますから、私はそのように思います。

ですから、やはりよっぽど行政というのは物を考えてやっていかないと。皆さん、テレビを見ておられますから、小西、またあんなこと言うとするわ。一回見てみたらと、いうので見に行って、うちもそしたらしてもらわなあかんわという人がたくさん増えたらどういうふうに対処されるのか知りませんが、私はそういうふうに思います。

どうですか、町長。答えをくれと言いませんけれど、やはり和東町民には同じように、平等に、公平にやっていかないと駄目です。私はこれは絶対駄目だと思います。

和東町の議会の人みんなそういうふうに思っておられる人はたくさんいらっしゃると思います。それでも立たなしゃあないからと思って立ってはると思います。だから、そういうようなことはないように。あまりしつこくくどくど言うたら、また小西、くどいこと言うと思うので、この辺でやめますけれど、これからは公平公正にやってください。よろしくお願いします。

以上です。

○議長（畑 武志君）

質疑を終結いたします。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

○議長（畑 武志君）

7 番、岡本正意議員。

○7 番（岡本正意君）

反対です。

議案第47号の令和7年度一般会計補正予算（第3号）に反対の立場で討論いたします。

まず何よりも、今回の補正予算に災害級とも言える深刻な物価高騰から住民生活を守り、支援する町としての施策が全くない点であります。一般質問でも指摘しましたが、この9月だけでも1,400を超える食品が値上げされています。また今、新米

が出回る時期を迎えておりますが、昨年と同様、それ以上に高値が続いており、不安を広げています。今、まさに出来る限りの暮らしへの支援が待たれています。その第一の責任は政府にあることは言うまでもありませんが、7月の参院選が終わって以降、衆参共に少数与党に転落するもとで、まともに国会も開かないまま石破総理が政権を投げ出し、そのうえ、自民党が先日から総裁選という身内の代表選に国民生活そっちのけで2週間も費やすなど、無為無策を延々と続けています。これ自身、本当に許せないことですが、だからといって、町自身も無為無策になってはならないと思います。

政府からの財政措置待ちのような悠長なことを言っている場合ではないのではないのでしょうか。一番身近な行政として、出来る限りの知恵を絞られ、財政を確保して支援を具体化すべきでした。

今回の補正では、町は緊急性があるとして災害復旧工事のために4,400万円の基金を取崩し充当されました。私は、異常な物価高騰による暮らしへの影響も災害と同様、それ以上の危機との認識が町長にあるならば、物価高騰対策でも同様の措置が取れたはずです。同じ水準の4,400万円の予算があれば、町長が立ち上げられた地域ポイントを1世帯ごとなら2万7,000円、1人ずつなら1万3,000円を付与でき、水道基本料金免除なら1年間分に相当します。2年度内の半年分で考えれば、今回の取崩し額の約半額で水道基本料金の免除も、10月から値上げ予定の汲み取り料金への補填も十分可能ではなかったでしょうか。

この9月議会での予算化、具体化が大変重要だったと思います。9月で何もしなければ次の定例会は12月になり、仮にそこで何かを予算化したとしても、年内の実施は困難となり、限定的にならざるを得ません。本補正予算では無理でも、直ちに検討、具体化し、臨時議会を開いてでも急いで補正を組まれることを強く求めています。

健康福祉交流センター南側公園隣接土地の災害復旧工事については、復旧の必要性や補償申請による今後の責任配分の方角性というものは一定理解できる面もあるもの

の、その一方で、責任の根拠が今現在不明確な段階での公費の投入や民地での工事と公共事業の一体化への疑問がどうしてもぬぐえません。その点をやはり指摘しておきたいと思います。

茶源郷乗り合い交通W a z C a rの運行、特に８月からスタートした宇治田原便が２か月経過しても利用がないという状況は、町の見通しの甘さや運行ありきの姿勢、そもそもの利用料の高さなどが考えられ、拙速であったことは明らかなだと思います。改めて事業を見直し、再検討されることを求めます。

社協職員設置補助金の今回の増額補正は当然のことですが、本来なら当初予算で確保していくべき予算であり、町のこの事業に対する軽視が感じられます。現場の実態や大変さを踏まえ、地域福祉の充実に責任を持って取り組まれることを強く求め、反対討論いたします。

○議長（畑 武志君）

ほかに討論はありませんか。

討論なしと認めます。

討論を終結いたします。

これより、採決いたします。

採決は１件ごとに行います。

議案第４７号 令和７年度和束町一般会計補正予算（第３号）は、原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

起立多数です。

したがって、議案第４７号 令和７年度和束町一般会計補正予算（第３号）は、原案のとおり可決されました。

議案第４８号 令和７年度和束町国民健康保険特別会計補正予算（第２号）は、原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

起立全員です。

したがって、議案第４８号 令和７年度和束町国民健康保険特別会計補正予算（第２号）は、原案のとおり可決されました。

議案第４９号 令和７年度和束町介護保険特別会計補正予算（第２号）は、原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

起立全員です。

したがって、議案第４９号 令和７年度和束町介護保険特別会計補正予算（第２号）は、原案のとおり可決されました。

議案第５０号 令和７年度和束町後期高齢者医療特別会計補正予算（第１号）は、原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

起立全員です。

したがって、議案第５０号 令和７年度和束町後期高齢者医療特別会計補正予算（第１号）は、原案のとおり可決されました。

議案第５１号 令和７年度和束町簡易水道事業会計補正予算（第１号）は、原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

起立全員です。

したがって、議案第５１号 令和７年度和束町簡易水道事業会計補正予算（第１号）は、原案のとおり可決されました。

日程第６、議員派遣についてを議題といたします。

お諮りいたします。

会議規則第１２７条の規定により、お手元に配付の議員派遣予定表のとおり議員を派遣することにご異議ありませんか。

異議なしと認めます。

したがって、議員派遣については、お手元に配付の議員派遣予定表のとおり派遣することに決定いたしました。

日程第７、委員会の閉会中の継続審査・調査についてを議題といたします。

各委員長から、会議規則第75条の規定により、お手元に配付の申出の一覧表のとおり、閉会中の継続審査・調査の申出があります。

お諮りいたします。

各委員長からの申出のとおり、委員会の閉会中の継続審査・調査に付することにご異議ありませんか。

異議なしと認めます。

したがって、各委員長からの申出のとおり、閉会中の継続審査・調査に付することに決定いたしました。

お諮りいたします。

今期定例会に付された事件は全て議了いたしました。

よって、会議規則第7条の規定により、本日をもって閉会したいと思います。

これにご異議ありませんか。

異議なしと認めます。

よって、今期定例会は、本日をもって閉会することに決定いたしました。

町長、挨拶。

○町長（馬場正実君）

まずもちまして、今期定例会、お疲れさまでございました。また、令和6年度決算認定につきましては、全部承認いただき、そして提案させていただきました議案につきましても全て議決いただきましたことを重ねてお礼を申し上げます。

先ほどからいろいろと厳しいご指摘も受けながらの議会でもございました。確かに私も、議員がおっしゃるとおり、かなり物価高騰で苦しんでおられる方のことを聞いております。この点につきましては、地方だけの財源ではなかなかできない部分もあります。それに合わせて町が乗せることによって、また新たな財源が出てくることもあると思っております。

今後、国の動き、また府の動きを注視しながら、12月に向かって、私も含め、職

員一丸となって業務を進めてまいりたいと思いますので、皆様のご理解とご支援を
よろしくお願いしたいと思ひます。

最後になりましたけども、今期定例会の半ばで議会作法に粗相がございました。職
員のほうにも問題があったということで考えております。この点につきましては深く
おわび申し上げ、令和7年第3回定例会のお礼の言葉とさせていただきます。

今期、誠にありがとうございました。

○議長（畑 武志君）

これをもって、令和7年和束町議会第3回定例会を閉会いたします。

本日はご苦労さまでした。

午後1時58分閉会

地方自治法第 1 2 3 条第 2 項の規定により署名する。

和束町議会議長 畑 武志

会議録署名議員 吉田 哲也

会議録署名議員 小西 啓